

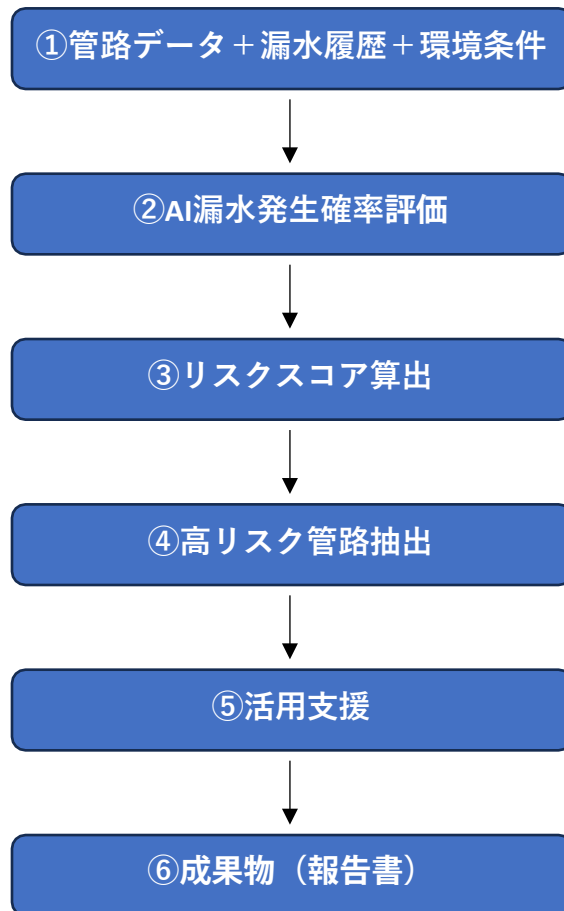
シーズ4：漏水リスク評価

漏水リスク評価は、管路の属性情報や漏水履歴データなどを分析し、漏水発生の可能性および漏水発生時の影響度を評価することで、漏水リスクの高い管路を抽出するコンサルティングサービスです。

管路の材質、口径、布設年度、漏水履歴などの情報を基に、漏水発生確率と被害影響度を組み合わせたリスク評価を行い、漏水リスクを定量的に可視化します。

これにより、漏水調査の重点区域の設定や、管路更新計画の優先順位検討など、効率的な管路維持管理の実施を支援します。

業務フロー



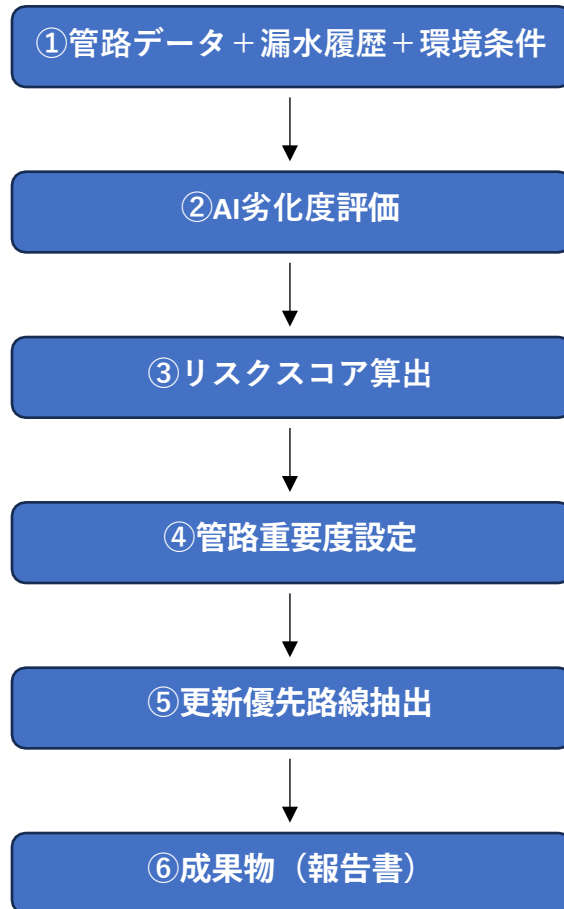
シーズ5：管路リスク評価

管路リスク評価は、管路の属性情報や破損履歴データなどを整理・分析し、AIなどの分析手法を用いて管路の劣化度および老朽化リスクを評価するコンサルティングサービスです。

管種、口径、布設年度、地盤条件、過去の破損履歴などの情報を基に、管路の劣化状況を定量的に評価し、将来的な老朽化リスクを予測します。

評価結果を可視化することで、維持管理の重点路線や更新優先路線を客観的に整理し、計画的な管路更新および維持管理の実施を支援します。

業務フロー



シース6：漏水調査優先度評価

漏水調査優先度評価は、管路属性データや漏水履歴データを分析し、漏水発生確率を評価することで、漏水調査の重点区域および優先路線を抽出するコンサルティングサービスです。

管路の材質、口径、布設年度、過去の漏水履歴などの情報を基に、漏水発生の可能性を定量的に評価し、高リスク区域を抽出します。

これにより、漏水調査の対象路線および調査頻度を合理的に設定することができ、限られた資源の中で効率的な漏水調査の実施が可能となります。

業務フロー

